



温かい思いやり  
感謝します

1月10日(木)、福岡ソフトバンクホークスの杉内俊哉投手が本市を訪れ、車いす5台を寄贈しました。杉内投手は昨年引き続き本市の総合運動公園で自主トレーニングに取り組んでおり、施設を使わせてもらっている恩返しとして寄贈したものです。



新工場立地協定  
地域活性化に期待

1月11日(金)、株式会社ワイテック(福岡市)が祁答院町<sup>かみで</sup>上手の北薩摩事業協同組合跡地に住宅用資材加工の新工場「さつまセンター」を設立することによる立地協定調印式が行われました。6月に本格操業を開始。月間で住宅約40棟分の資材を生産します。



鹿児島きんかん  
「いりき」出発式

12月3日(月)、JAさつま川内入来集荷場で、かごしまブランド指定の鹿児島きんかん・いりきの初出荷となる出発式がありました。東京・大阪に出荷され、贈答品として珍重されています。約190トン、1億6,000万円分の出荷が見込まれています。



今年の五穀豊穡  
などを祈願して

1月7日(月)、新田神社の参道でみくに幼稚園児が参加して、武射祭が行われました。約5m先にある直径1.5mほどの大的にそれぞれ2本ずつ矢を放ち、本年の五穀豊穡や無病息災を祈願しました。矢が大的に命中すると、大きな歓声が上がりました。



農業振興に  
力を合わせて

1月9日(水)、本市の六つの土地改良区(川内市・樋脇町元村新田・入来町・東郷町南瀬・東郷町山田・祁答院町)の合併予備契約調印式が行われました。調印式には各土地改良区の理事らが出席し、森卓朗市長の立ち合いで契約書に署名、押印しました。



おるかおるか  
良い子にしようか

大みそかの夜、下甌町で子どもの健康と幸せを願う国指定無形民俗文化財の伝統行事「トシドン」がありました。怖い形相のトシドンに周囲は子どもの泣き声や大人の笑い声に包まれました。最後は褒美として子どもの背中に白もち「歳魂<sup>としたま</sup>」を載せてくれました。